

- 1.ここでは、取り扱い製品の製造過程を幾つかの工程に分割し、登録をします。
登録が完了すると、「2.在庫検索」のページにて登録内容をもとに在庫の操作ができるようになります。

1. 工程設計 2. 在庫検索 3. 工程ごと在庫の参照 4. 発注登録

在庫操作の前に、製造過程を工程として分類し、登録します。
以下「[詳細]」ボタンをクリックし、リンク先の資料を参照して登録をお願いします。

詳細

工程登録

| | |
|-----|------|
| 工程1 | 入荷 |
| 工程2 | 受け入れ |
| 工程3 | 受入検査 |
| 工程4 | 入庫 |
| 工程5 | 出荷検査 |
| 工程6 | 出荷準備 |
| 工程7 | |

- 2-①.工程間の在庫移動について
移動の始端を「発工程」、終端を「宛先工程」として、
発工程の数量をマイナス、宛先工程の数量をプラスすることで
移動を表現しています。

管理番号 型番

シリアル番号

発工程 - 宛先工程 +

入荷

規格1

備考

入力者

入荷
受け入れ
受入検査
入庫
出荷検査
出荷準備

2-②.シリアル番号について
デフォルトでは在庫移動の際、製品固有のシリアル番号の入力が求められます。

社内在庫移動

在庫検索

オーダー検索

在庫移動/手入力

入出庫日

入力日

yyyy/mm/dd

2024/10/16 13:29:06

品名

管理番号

型番

シリアル番号

入力したシリアル番号について、発工程における該当の数量が0以下の場合、
入力は無効となります。

指定の部材、シリアルは指定の発工程に在庫はありません。aの入力内容は以下の通りです。

指定の部材、シリアルは指定の発工程に在庫はありません。aの入力内容は以下の通りです。

| 入力日 | 入出庫日 | 管理番号 | 品名 | 型番 | シリアル | 数量 | 発工程 | 受工程 | 組品数 | 保固数 | 規格1 | 規格2 | 備考 | 入力者 |
|-----|------|------|----|----|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| | | | | | | | | | | | | | | |

確定

この機能は、中間工程では入力間違いの防止として有効に機能しますが、
最初端の工程では無効にしておかないと、以降の全ての工程に
数字を動かすことができなくなります。

機能の無効化は、予め工程登録の際、ページ下部の入力欄に記載が必要となります。

最初の工程で機能を無効化するときは、該当の語句を

- ・スタート工程
- ・シリアルチェック無し工程

の両方に記載します。

※中間工程での機能無効化は、2つ目、3つ目の入力欄に記載してください。

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| スタート工程 | | |
| 入荷 | | |
| シリアルチェック無し工程 | シリアルチェック無し工程 | シリアルチェック無し工程 |
| 入荷 | | |
| オーダー解除工程1 | オーダー解除工程2 | オーダー解除工程3 |
| | | |
| シリアル有効化工程1 | シリアル有効化工程2 | シリアル有効化工程3 |
| | | |
| 規格1有効工程1 | 規格1有効工程2 | 規格1有効工程3 |
| | | |

※中間工程での「シリアルチェック無し工程」の指定について

中間工程での「シリアルチェック無し工程」の指定は、取り扱い製品を内製せず、外部から購入するケースを想定しています。

入荷前の購入のやりとりの段階で、シリアル番号が判明しているケースはまれです。

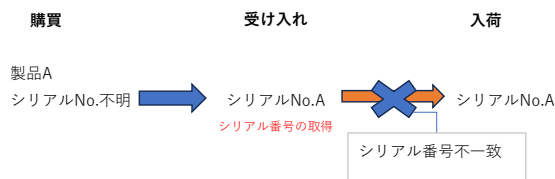
例えば、上図とは異なり、製品を購入で仕入れるケース

購買→受け入れ→入荷→受入検査→入庫→出荷検査

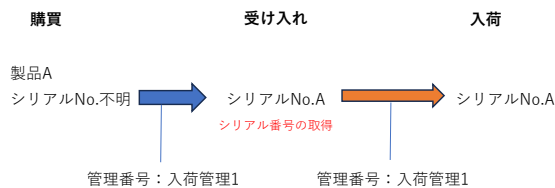
では、「受け入れ」工程でシリアル番号を取得し、以降の後工程でシリアル番号での管理をするものと想定します。この場合、一つ目の「シリアルチェック無し工程」に「購買」、二つ目に「受け入れ」工程を指定します。

「受け入れ」工程を軸に考えたとき、デフォルトでは、

入庫時「入荷→受け入れ」のシリアル番号と出庫時「受け入れ→受け入れ検査」のシリアル番号は一致しないと、出庫入力「受け入れ→受け入れ検査」の在庫移動は無効になります。



「シリアルチェック無し工程」に指定しておくことで、シリアル番号が不一致でも管理番号が同一であれば後工程への移動が可能となります。



3.そのほか、入力が必要な項目について、説明します。

スタート工程

シリアルチェック無し工程

シリアルチェック無し工程

シリアルチェック無し工程

オーダー解除工程1

オーダー解除工程2

オーダー解除工程3

シリアル有効化工程1

シリアル有効化工程2

シリアル有効化工程3

規格1有効工程1

規格1有効工程2

規格1有効工程3

登録する

3-①.オーダー解除工程について

オーダー解除工程より先に、受注登録について説明します。

1.工程設計 2.在庫操作 3.工程ごと在庫の参照 4.受注登録

取引先からの受注を登録し、在庫の過不足を確認できるようにします。

受注登録 受注登録検索・削除

登録内容入力

出庫日 入力日

yyyy/mm/dd 2024/10/19 09:48:25

管理番号

依頼番号

社内の在庫数は、それだけだとあくまで記号的数字に過ぎませんが、
受注レコードと併せて管理することにより、在庫の過不足を確認できます。
受注レコードの登録は上図の通り、「4.受注登録」タブから可能です。

登録した内容は、「2.在庫操作」タブの「在庫検索」画面で、在庫と一緒に確認できます。

1.工程設計 2.在庫操作 3.工程ごと在庫の参照 4.受注登録

「1.工程設計」の登録内容をもとに、製品ごと登録した工程間の移動をレコードとして入力します。併せて入力済みレコードの検索、削除も可能です。
ページ最下部の「一括入力フォーム」よりダウンロードしたExcelファイルに登録内容をまとめて記入し、アップロードすることで、一括入力が可能です。
「1.工程設計」での工程の登録が未実施でしたら、先に登録をお願いします。

1.工程設計

社内在庫移動 在庫検索 オーダー検索

全在庫検索

以下の入力欄に検索したい品名・品番を入力して下さい

品名

A

品番

検索

Aの受注は以下の通りです。

| レコードID | 管理番号 | 入出庫日 | 入力日 | 品名 | 数量 | 入力者 | 備考 | ステータス |
|--------|-------|------------|---------------------|----|----|----------|------|-------|
| 3 | 受注番号1 | 2024-10-19 | 2024-10-19T10:03:04 | A | 1 | member B | note | 既受中 |

Aの全在庫は以下の通りです。

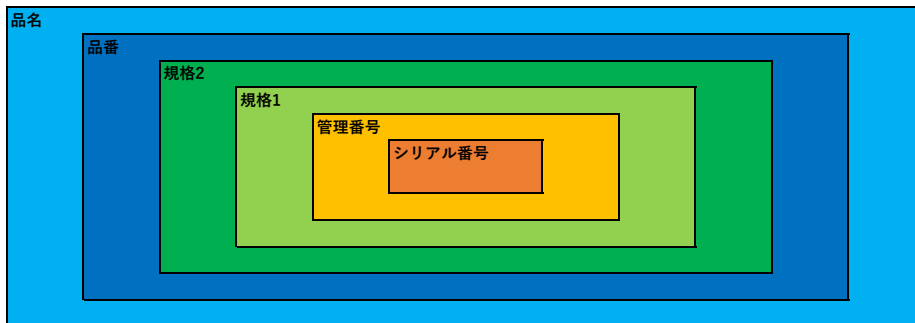
| 工程 | 数量 | 残品数 | 保留数 |
|------|----|-----|-----|
| 入荷 | -7 | 0 | 0 |
| 受け入れ | 3 | 0 | 0 |
| 受入検査 | 2 | 0 | 0 |
| 入庫 | | | |
| 出荷検査 | | | |

仕組みとして、対応済みの受注レコードは受注一覧から除外し、未完了の受注レコードを表示する必要があります。
工程設計で作成した工程のいずれかを、「オーダー解除工程」に指定することで、その工程に到達した際、
同一の管理番号の受注レコードを受注一覧から消します。

3-②.シリアル有効化工程、規格1有効工程 について

この項目は、「3.工程ごと在庫の参照」タブの視認性向上の為のものです。

項目自体の説明の前に、本システムで想定している製品の管理単位の粒度について説明します。



上図の通り、品名>品番>規格2>規格1>管理番号>シリアル番号 の順に管理単位の粒度は細くなって行きます。

「3.工程ごと在庫の参照」画面では、デフォルトでは「管理番号」を管理単位の最小粒度として、品名・品番と併せて表示しています。

※「規格1」、「規格2」は、工程によって管理番号が複数ある時を想定して設けた項目となります。

1. 工程設計
2. 在庫操作
3. 工程ごと在庫の参照
4. 受注登録

在庫を工程ごとに参照できます。

入荷
受け入れ
受入検査
入庫
出荷検査
出荷準備

| 管理番号 | 品名 | 品番 | 在庫 | NG数 | 保留数 |
|--------|----|--------|----|-----|-----|
| adnum1 | A | model1 | 5 | 0 | 0 |

検索結果をダウンロード

工程登録の際、予め「シリアル有効化工程」の入力欄に記載しておくと、さらに粒度の細かいシリアル番号ごとの表示になります。

スタート工程

入荷

シリアルチェック無し工程

シリアルチェック無し工程

シリアルチェック無し工程

入荷

受け入れ

受入検査

オーダー解除工程1

オーダー解除工程2

オーダー解除工程3

シリアル有効化工程1

シリアル有効化工程2

シリアル有効化工程3

規格1有効工程1

規格1有効工程2

規格1有効工程3

↓

1. 工程設計
2. 在庫操作
3. 工程ごと在庫の参照
4. 受注登録

在庫を工程ごとに参照できます。

入荷
受け入れ
受入検査
入庫
出荷検査
出荷準備

| 管理番号 | 品名 | 品番 | シリアル | 在庫 | NG数 | 保留数 |
|--------|----|--------|---------|----|-----|-----|
| adnum1 | A | model1 | serial1 | 1 | 0 | 0 |
| adnum1 | A | model1 | serial2 | 1 | 0 | 0 |
| adnum1 | B | model1 | serial1 | 1 | 0 | 0 |
| adnum1 | B | model1 | serial2 | 1 | 0 | 0 |
| adnum1 | B | model1 | serial3 | 1 | 0 | 0 |

逆に、表示をシリアル番号ごとの集計にしまうと、総数の把握が難しくなります。
また、工程によっては管理番号が複数ある場合もあります。
2つ目、3つ目の管理番号として「規格1」「規格2」という項目が作成されており、
「規格1有効工程」の入力欄に記載をすることで、「規格1」を表示させることができます。

スタート工程

入荷

シリアルチェック無し工程

シリアルチェック無し工程

シリアルチェック無し工程

オーダー解除工程1

オーダー解除工程2

オーダー解除工程3

シリアル有効化工程1

シリアル有効化工程2

シリアル有効化工程3

規格1有効工程1

規格1有効工程2

規格1有効工程3

受入検査

↓

1. 工程設計2. 在庫操作3. 工程ごと在庫の参照4. 受注登録

在庫を工程ごとに参照できます。

入荷受け入れ受入検査入荷出荷検査出荷準備

| 管理番号 | 品名 | 品番 | 規格1 | 在庫 | NG数 | 保留数 |
|--------|----|--------|-------|----|-----|-----|
| adnum1 | A | model1 | type1 | 5 | 0 | 0 |

検索結果をダウンロード